



2018年4月27日  
帝都自動車交通株式会社

## 創業 80 周年を迎えた帝都自動車交通 2020 年に向け、さらなる発展を願い 社員を対象に記念式典を開催

記念式典：2018年4月1日、7日、18日

帝都自動車交通株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：神子田健博、以下帝都自動車交通）は、2018年4月で創業80周年を迎えました。創業以来、当社は「人と人とをつなぐ架け橋」となるべく、お客様に安全かつ快適な移動空間を提供してきました。

また、2年後の2020年には、タクシー業界はさらなる発展が予想されることから、記念すべき本年を全社員と分かち合うべく、記念式典を開催しました。式典は、本社にてタクシー・ハイヤー代表運転者を対象に4月1日（日）、4月7日（土）、サンライズビル（東京）にて本社・営業所職員、整備士、関連会社職員を対象に、4月18日（水）と3回に分けて開催されました。



### ■代表 神子田による挨拶

各記念式典では、代表の神子田による社員に向けての挨拶から始まりました。

「帝都自動車交通株式会社は創業80周年を迎えました。この80年という年月を支えてきたのは、先人の努力と社員たちの力であり、なによりもお客様のおかげであることを忘れてはいけません。また、運転者、整備士、無線センターのオペレーター、本社・営業所職員等、各々大切な役割を果たしており、皆がいないと帝都自動車交通は1日も動きません。皆でこの記念すべき式典を祝いたく準備をして参りました。」と、社員に向け日ごろの感謝の言葉を述べました。

「今後も帝都ブランドを磨き続けることで、90周年、100周年を迎え、発展することを確信しています。共に頑張っていきましょう。」と力強い挨拶がありました。

## ■若手社員が考える、帝都自動車交通の未来

自動運転システムや、AI・IoT等の技術が発展する中、20年後の2038年に創業100周年を迎える帝都自動車交通は今後どうあるべきか、本社・タクシー・ハイヤーの3チームの若手社員16名が考え、その発表が行われました。当社の企業理念である「人と人とをつなぐ架け橋に」を守り続け、人が提供する質の高い「安全・安心」の移動空間を今後もお客様に届けていきたいという考えのもと、若手ならではの新しい考え方や提案が印象的な発表でした。

その後、役員や社員同士との歓談の場となりました。

当社は、1938年の創業以来、東京のタクシー企業としてお客様の移動をお手伝いしてきました。現在も「タイヤ以外、何に触れても事故である」との厳しい事故の考え方を基準に事故ゼロという大きな目標に向け、時代の流れとお客様の声に耳を傾け、様々な取り組みを行ってきました。また、社員の健康管理に注力し、輸送業としての「安全」、サービス業としての「安心」を積み重ねてきました。

今後も帝都自動車交通は、多くの皆様に最先端のタクシー業界を知っていただく機会を設けていきます。

## ■式典概要

名称： 帝都自動車交通株式会社 創業80周年記念式典  
日程： 2018年4月1日（日） 対象：タクシー・ハイヤー代表運転者  
2018年4月7日（土） 対象：タクシー・ハイヤー代表運転者  
2018年4月18日（水） 対象：本社・営業所職員、整備士、関連会社職員  
参加者： 当社社員 計400名  
内容：

- ・式典
- ・80周年記念映像鑑賞
- ・若手社員による未来ビジョン発表
- ・記念撮影

以上